



令和6年度学校だより

2月号

吉松の子

湧水町立吉松小学校

「教員全員で何度も話し合い、授業研究を通して検証する」

校長 坂本 敬

吉松小学校では、令和5年度から今年度までの2年間にわたり、始良・伊佐教育事務所から指定を受け、算数科の学力向上を目指した研究を重ねてきました。

「自ら課題と向き合い、他者と協力しながら課題解決に向けて学習に粘り強く取り組む子供の育成」という研究主題を設定し、その研究主題に迫るための方策を教員全員で何度も話し合い、その方策が効果的であるか授業研究を通して検証するという実践を重視した研究スタイルを特に大切にしてきました。

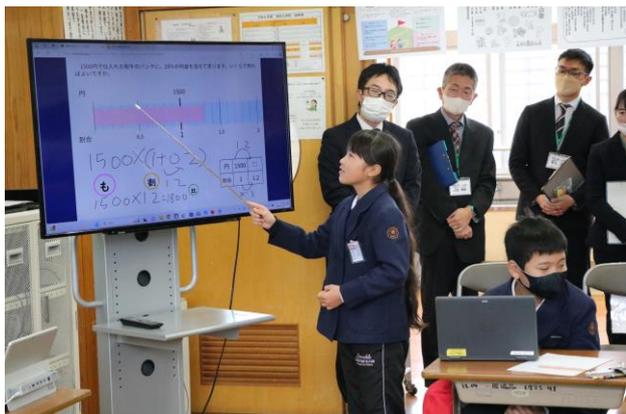
授業研究とは、教材の検討を教員が行ったうえで、お互いの授業を学校内の教員どうしで観察し、観察結果に基づいて指導内容・方法を話し合うという教員研修の方法です。子供の学びを深める授業を目指すとともに、教員どうしが協働して研修を行うということを大切にしています。この授業研究は日本の学校では当たり前に行われていますが、OECD（経済協力開発機構）の報告書では授業研究について「この慣行が日本の学校で指導の質の向上に貢献しているのは疑いない」とされ、また、文部科学省の会議の報告書でも「初等中等教育では理数科教育や授業研究が、これまで日本が実施してきた得意分野として諸外国から評価されている」（平成24年国際協力推進会議中間報告書）と述べられています。

そんな授業研究による検証を特に大切にしてきた本校の研究を1月28日（火）「研究公開」にて、他校の先生方に発表しました。なんと60人を超える先生方がお越しくださいました。その大勢の先生方が参観される中、4年生と5年生の子供たちが算数科の授業を通して本校の研究が目指してきた姿を存分に発揮してくれました。そして、その姿を参観された多くの先生方から「とても参考になる研究内容。そしてその研究内容が活かされたすばらしい授業だった。」

「自分の授業でもぜひ取り入れてみたい。」などの高い評価をいただきました。

本校の教員全員が「目指す授業・目指す子供の姿」を頭に思い描きながら研究したり、日々の授業を行ったりしてきた大きな成果だと思います。今回の研究公開でいただいた評価や御意見を糧に、今後も全教職員で心をひとつに目の前の子供たちの「学力向上」のためにできることを精一杯がんばっていこうと思います。

始良・伊佐地区研究協力校 研究公開（1.28）



PTA空きびん回収

1月11日（土）にPTA空きびん回収を行いました。運営部員や各地区子ども会育成会長（副会長），自治会長の皆様の協力をいただき，事前に準備されたケースが不足するほどたくさんの空きびんを回収できました。御協力に感謝いたします。



吉松っ子の「かがやき」

第8回椋鳩十作品読書感想文コンクール

- | | | |
|------------------|----|------|
| <くりの図書館長賞> | 6年 | 女子児童 |
| <椋鳩十生誕120周年記念特選> | 6年 | 男子児童 |

2月～3月上旬の主な行事予定

- | | |
|-----------------|------------------------------------|
| 2月11日（火） | 建国記念の日 |
| 13日（木） | 町保幼こ小中高実践交流会（全学年4時間授業） |
| 14日（金） | なわとび大会，学校保健委員会・家庭教育学級講演会 |
| 20日（木） | PTA運営部会 |
| 21日（金） | 避難訓練（地震） |
| 22日（土） | 金管バンド定期演奏会 |
| 23日（日） | 天皇誕生日 |
| 24日（月） | 振替休日 |
| 28日（金） | クラブ活動（3年活動見学） |
| 3月 6日（木） | 特別支援学級閉級式，授業参観
学年PTA，PTA運営部員引継会 |
| 7日（金） | 6年生を送る会，お別れ遠足 |

学校HPは
こちらから

